

平成 29 年度総会資料

平成 30 年 4 月 8 日(日)

埼玉県トライアスロン連合 (STU)

<http://www.stu-triathlon.com>

平成 29 年度活動報告

1. 平成 29 年度活動方針と実績：
 1. ジュニア層を含むエリートアスリート強化
 2. 安全、マナー、及び競技ルールを踏まえた競技人口の拡大 競技人口の拡大
 - ✓ 競技人口拡大につながるイベントの拡充。
 - ① ロング DA 練習会(3/11)の参加枠拡大と趣旨の定着。さらに、遠泳合宿継続実施 3 回目(5 月)。
 - ② スイム講習会、バイク講習会、Jr 講習会といった講習会活動の複合的な実施機会の増加。
 - ③ 羽生スーパースプリントセットデュアスロン大会(羽生 SSDA)第 3 回大会の実施とカテゴリーの充実。
 - ✓ 県内大会において、ヘルメットルール厳守の呼びかけ強化。一方、彩の国・紅チャレ・KIDS 各大会では、単にヘルメットを被るだけではなく、その装着方法の指導を強化。関東ブロック内大会を初めとして当県審判員が支援活動に赴いた他県大会での働きかけも推進。STU 審判講習会・研修会での指導方法の研修を実施。
 - ✓ 安全な競技運営のための環境整備。彩の国大会の湖水面安全管理のためのスイムレスキューチーム導入。審判員の海難救助訓練(関東ブロック講習会:5 月湘南海岸)の定例化と県審判員参加者増。
 - ✓ 以上のような活動にもかかわらず、彩の国大会において STU 史上初の水死事故発生。詳細な原因は不明だが、来年度への宿題が炙り出された。
2. 登録会員数と会費：平成 29 年度は 1,100 名、一般:992 名(うち高校生 6 名)、ジュニア 108 名。
 なお、3 月末現在の平成 30 年度会員数は、一般:約 650 名(うち高校生は 0 名)、ジュニア約 30 名強
 → 全体としては、ここ数年続いていた会員数の微増傾向が終わり踊り場に達したと考えられる。今後当競技の魅力強く訴える施策を打ち出さない限り、東京五輪以降の会員数の下降が懸念される。
3. 主管大会/イベント等の実施・運営活動
 - 彩の国 TA 大会・JTU 関東選手権を 6/4(日) 参加者約 400 名で開催。今年は選手権のスタートエリア区切りや本部横断路の改善など実施。また、選手権大会の見栄えを意識した時間差表示板やペナルティ表示板を導入。
 - 例年 7 月初旬に行われるチームケンスカップアクアスロン(AA) in 西武園遊園地大会は会場改装のため休止。
 - 例年 9 月初旬に行われる川越アクアスロン・エキデンは、駅伝の部を無くして全国チャレンジキッズ大会の前日 7/8(土)に、同一会場(川越水上公園)にて開催。参加者約 150 名
 - 全国チャレンジ KIDS トライアスロン(TA)大会 7/9(日) 参加者約 450 名。盛況。オリンピック関根氏に子供達へのコーチングや完走賞渡し役を担っていただき、夢へ続く道を指し示す大使をお願いした。
 - 紅葉チャレンジ TA・デュアスロン(DA)フェスティバル 10/29(日) 参加者申込者数約 500 名。
 今年は昨年に続いて消防士のための大会を兼ねたイベントとして消防カテゴリーを併設。
 - 第 3 回羽生スーパースプリントを 12/11(日)に開催。STU オリジナルのフォーマットによるオフシーズンイベントで、初心者を含む全ての選手層が対象。短い距離(スーパースプリント)を複数回走るトレーニングイベント(セットデュアスロン)であるが、今年は、中高一般層もワンレースのみ参加できるようなカテゴリーを整備し、大会の形としての一応の完成形を見た。今後の課題は広報宣伝の強化と収支の安定化。
 - Calfman DA シリーズ北関東ステージ(1/15(日)) 今年度は本部会場(武蔵丘陵森林公園)の改修工事進行に伴い一部コース変更が行われたが、天候に恵まれて無事終了(参加者約 250 名)
 エリートの部の第 1 ランの運営が課題となるため、来年度はエリートの部のレースフォーマットを変えて、スムーズなコースレイアウトになるよう変更を行う予定。又、昨年レース直前に突然雪となり、全員一斉にコース下見をゆっくりと誘導しながら行わせたことが却って短い時間で全員に均等に下見をさせることができた経験から、今後そのやり方をうまく活用して、時間的制約に対応できるような方法を検討する。
 - STU ロングディスタンス DA 記録会(LDDA) 3/11(日) 渡良瀬遊水地 参加者約 110 名。
 参加料が安い(2000 円)ため、とりあえず申し込んでおいて当日不参加という人が例年多く、これを見込んで枠を増やした。本年度は天候もよく、シーズン前の時期にもかかわらず完走率が高かった。又、イベントの趣旨の理解が進み、参加者が率先して手伝う雰囲気や好循環が生まれている。
 - JTU 公認認定記録会(朝霞)を 3/25 に実施。上記 LDDA と同様、申込だけを行って他都県での直前の記録会で好成績がでたらドタキャンするという選手が例年相ついでいる。今年はこれを極力減らすために、出場者の選考を行い 80 人に枠を絞って実施。参加希望者に対する参加者の比率は多少改善された。
 なお、全国で唯一の完全機械計測導入により、精度の高い記録計測の実施は昨年より継続中。
4. 大会以外のイベント/講習会・練習会の恒常化により会員サービス向上を図った。
 - 一般会員向けスイム練習会を毎月実施。参加者延べ約 200 人。
 - Jr. エリート合宿(1 月初旬 3 日間)、Jr 向けスイム講習会+ラン講習会も別日程で実施
 - 審判員試験・更新講習会、及び、審判員有資格者全員対象の研修会の実施：12 月と 2 月の年 2 回実施

平成 30 年度埼玉県トライアスロン連合活動方針

1. 平成 30 年度活動方針:

1. 既存大会の維持と安全管理の向上
2. 包括的な選手強化（エリート、ジュニア、ロング、デュアスロン、パラ）
3. 法人格取得に向けた組織づくり

施策の展開方法

- 1 について、既存の大会を今年度もきちんと開催すること。
事務局作業が分散されると、小さな引き継ぎミスが大きなトラブルの原因になり得ますので、そういったものを出来るだけ防げるよう、慎重かつ迅速に作業を進めること。
その上で、大会会場の設営及び運営の安全性を高め、昨年起きてしまった死亡事故を繰り返さないようにすること。
- 2 については、2020 東京五輪や国体に向けて、主にエリート選手に注目が集まりますが、他カテゴリーの強化指定選手にも目を向け、支援をしていくこと。
- 3 については、理事会での議論が必要ですし、すぐにとはいきませんが、他県の動向を参考にしながら、一步を踏み出せばと思います。

2. 主管/協力予定大会

平成 30 年度埼玉県トライアスロン連合主管大会（含 記録会）

開催日	大会名	開催場所 事務局	大会の特徴など。	定員	参加費
6/3（日）	彩の国トライアスロン大会 JTU 関東トライアスロン 選手権大会 兼 埼玉県総合体育大会 福井国体埼玉県、千葉 県、栃木県、各県代表 選考会	渡良瀬遊水地 (本部:中央エ ントランス)	JTU 登録者。彩の国大会 はウエットスーツ着用 義務。関東選手権は日本 選手権参加資格獲得の ための予選。	ミドルタイプ(A)、オリ ンピックタイプ(B)、ス プリントタイプ(C) 各 100 名 選手権は男 女各 75 名	(A) 15k 円 (B) 12k 円 (C) 10k 円 但し高校生 3k 円 (選手権) 12k 円
7/7（土）	チームケンズカップ アクアスロンイン西 武園ゆうえんち大会	西武園遊園地。 事務局:チーム ケンズ内	初心者対象のアクアスロ ン大会。 スイムはプール利用。	約 200~260 名	個人 5.5~4.5k 円 ペア 8k 円、 リレー・複合 11k 円
7/8（日）	全 国 チャレンジ KIDS トライアスロン大会	川越市川越 水上公園 事務局: STU 事務局	小中学生の初心者・中上級 者。及び保護者対象 スイムはプール利用。 主として保護者等一般対 象カテゴリー有り	チャレンジコース 200 名 快速コース 350 名 一般(大人)チャレン ジ 100 名	チャレンジの部 2k 円 快速の部 3.5k 円 一般(保護者等) チャレンジ 4k 円
10/28 (日)	紅葉チャレンジトラ イアスロン・ デュアスロン フェスティバル IN 加須	渡良瀬遊水地 (本部:中央エ ントランス) 事務局:チーム ケンズ内	トライアスロン・デュアス ロン同時スタート。 スイムはウエットスーツ 着用義務。	約 500~700 名程 度	トライアスロン 13k 円、 デュアスロン 8k 円、 小学生 2.5k 円、リ レー 21k 円/チーム、高校生 3k 円
12/9(日) →12/16 (日)で再 検討	羽生スーパースプリ ントセットデュアス ロン(SSDA)大会	羽生水郷公 園事務局: STU 事務局	小中学生~一般、初~上級 者。ドラフティング禁止。 エアロバー使用禁止。 本邦唯一の一般者が参加 できるセットレース	小中学生 計 80 名 一般 計 180 名	一般 8k 円 高校生 3k 円 小中学生 2k 円
19年1月 13,14 or 20 日	Calfman デュアス ロンシリーズ北関東 ステージ	国設武蔵丘 陵森林公園	中上級競技者中心の デュアスロン大会。 ジュニア部門も併設	エリート・一般(含む 中高生)・ジュニア 計約 300 名	一般8K円,小中生・ 初心者3.4K円,高 校生5K円
19年3月 10日(日)	STU ロングディス タンスデュアスロン 記録会	事務局: STU 事務局	宮古島,五島, I M, 佐渡等 のロング大会に向けた調 整確認の記録会	130 名程度。 (募集は 150 名程 度)	3k 円。但し参加者 全員が運営に協力 する

さらに、川口わんぱく TA 大会(8 月下旬、主催川口市青年会議所、小 4~6 年生定員 300 人)の支援を積極的に行う。

平成29年度STU本収支

埼玉県トライアスロン連合

平30年3月21日現在

収入	内 容	予算	決算	増減
前期繰越		11,389,251	11,389,251	0
会費収入	H29年度年会費 H30年度分1,330,400円を含む	2,850,000	2,731,800	-118,200
県体協運営費補助金	県助成金(20万円・Jr23万円・国体20万円・強化事業3万円) 関ブロ関東選トワイ補助金2万円	420,000	680,000	260,000
備品購入費負担分収入	彩の国大会5万円	300,000	50,000	-250,000
大会主管料収入	全国チャレンジKIDS7万円 紅葉チャレ25万円 カーフマン26万円 彩の国・関東選30万円 川越AA10万円 羽生SSDA10万円	950,000	1,080,000	130,000
大会剰余金	彩関東選剰余金152,515円(但県助成5万円・トワイ補助2万円除く)	0	82,515	82,515
事務局通信費負担分収入	含む大会郵送料、彩の国/6万円	60,000	60,000	0
事務局費負担分収入	彩の国・関東選/30万円	300,000	300,000	0
強化活動 収入	Jr強化合宿参加費6万円 Jrラン・バイク練習会7,800円 Jrスイム練習会4,500円	80,000	72,300	-7,700
	STUスイム講習会参加費	200,000	48,500	-151,500
	ロングDA記録会参加費26万円・公式式走費3,000円 スイム合宿参加費(送迎費含)18.3万円 ドラフティング講習会3万円	600,000	476,000	-124,000
認定記録会参加費	(H28年度223,000円)	225,000	223,000	-2,000
審判員試験検定料	第2種(4名)8,000円 第3種(23名)23,000円	20,000	31,000	11,000
販売代	審判ウェア・キャップ(送税込)	50,000	62,660	12,660
その他収入	チャレンジKIDS 19円 I-FA講師派遣代12,000円 金子先生よりご寄付30,000円 小原信治様よりご寄付6,000円 新年会会費39,000円 懇親会参加費5,000円	0	92,019	92,019
各種預り金		0	0	0
預金利息			98	98
収入計		6,055,000	5,989,892	-65,108
収入残高		17,444,251	17,379,143	-65,108
支出	内 容	予算	決算	増減
JTU登録料	一般1,000円/人、団体一般500円/人、高校生300円/人、ジュニア100円/人	950,000	756,100	-193,900
JTU分担金等	JTU社員分担金5万円	150,000	50,000	-100,000
県体育協会分担金	埼玉県体育協会20万円	200,000	200,000	0
運営担当者への 日当・謝礼	全チャレ/4.4万円 紅チャレ/11.4万円 カーフマン/16万円 ロングDA/3万円 記録会 スイム合宿/5.4万円 スイム練習会(12回)3.6万円 ドラフティング講習会/29,400円 Jrスイム練習会(2回)2万円 Jrラン・バイク練習会(3回)68,212円 会議等日当/3.3万円 過去国体日当/2.4万円	700,000	612,612	-87,388
大会事務局費	彩の国・関東選30万円	300,000	300,000	0
通信費(郵便・宅急便)	会員証送料 イベント案内送料 総会案内 審判員ウェア送料 申請書類送料 等	276,000	231,314	-44,686
通信費(電話)	通信費	108,000	101,804	-6,196
大会器材購入費	消火器2本、赤旗5本	300,000	9,730	-290,270
インターネット管理費	HP管理維持費年間12万円 ブログバイダー契約年間11,340円/年(～2019/3/6)	133,200	142,680	9,480
大会補助金	主管イベント負担金赤字分補填 川越AA- 272,665円 、羽生- 417,448円	200,000	690,113	490,113
強化費・講習会等 (屋内)	スイム練習会/保険料8,140円・プール使用料(全面1回・半面11回)140,400円 Jrスイム練習会/保険料1,480円・会場費21,600円 新年会152,000円 懇親会17,500円	800,000	341,120	-458,880
強化費・講習会等 (屋外LDA,LS)	スイム合宿/129,542円 ドラフティング講習会/3,620円 チャKIDS/弁当代32,302円 Jrラン・バイク練習会/保険料10,860円・補給食6,222円 ロングDA/210,681円 カーフマン/視察・打合せ1,030円	900,000	394,257	-505,743
Jr強化合宿経費、 エリート栄養費	日本選手権強化費(栄養費)/14万円 Jr合宿/338,061円(謝礼含む)	620,000	478,061	-141,939
国体関係費	関東ブロック合同強化合宿/79,100円 強化合宿(2回)/246,892円(謝礼含む)	125,000	325,992	200,992
認定記録会経費	(H30年度計上)	189,000	0	-189,000
JTU審判員認定&経費	12/17・2/18 講師料6,000円 案内送料1,312円 資料印刷代12,820円 会場費(コンセント使用料込)13,460円	17,000	33,592	16,592
交際費	香典 県・競技団体シンポジウム懇親会会費7,000円	50,000	27,000	-23,000
旅費交通費	県体協会議 関東ブロック会議 大会現地地下見・打合せ 渡良瀬遊水地利用者会議等	50,000	18,004	-31,996
STU事務局費	50,000円×12ヶ月	600,000	600,000	0
会計事務費	15,000円×12ヶ月	180,000	180,000	0
支払手数料		2,800	0	-2,800
備品費	審判ウェア仕入れ 4,452円*20枚 キャップ1,920円*18個	10,000	123,600	113,600
消耗品費	上質紙 プリンター用インク ガムテープ ゴミ袋 メディカル用品 乾電池等	10,000	38,845	28,845
印刷費	関東ブロック会議・審判員勉強会・理事会等資料	10,000	18,440	8,440
会議費	会議室代(監査、理事会、総会)	24,000	12,295	-11,705
その他支出	埼玉県飛翔事業補助金返納45,700円 競技団体指定クラブ強化事業30,000円 参加費・預かり金・年会費返金	50,000	81,170	31,170
支出計		6,955,000	5,766,729	-1,188,271
収支計		-900,000	223,163	1,123,163
残高		10,489,251	11,612,414	1,123,163
【備考】				
平成29年度末収支残高計			11,612,414	
平成29年度内における平成30年度分年会費1,330,400円			1,330,400	
平成29年度末STU本収支実質残高			10,282,014	

平成30年度本収支予算

埼玉県トライアスロン連合

平30/4/1～平31/3/31

収入	内訳	固定額	単価	個数	予算額	前期 (平成29年度) 決算額	前期 (平成29年度) 予算額
前 期 繰 越					11,612,414	11,389,251	11,389,251
会費収入(大人)	1000人×3,000円 うち100名免除		3,000	900	2,700,000	2,698,500	2,820,000
会費収入(ジュニア)	110人×300円		300	110	33,000	33,300	30,000
埼玉県体協運営費補助金	体協15,国体20,県選手権5,体協Jr育成23,関ブロ補助2	650,000			650,000	680,000	420,000
備品購入費負担分収入	設備購入費、彩の国5	50,000			50,000	50,000	300,000
大会主管料収入	彩の国+関東選手権30、紅チャレ25、 カーフマン15、全チャレKIDS7、羽生SSDA10	870,000			870,000	1,080,000	950,000
事務局通信費負担分収入	含む大会郵送料、彩の国6	60,000			60,000	60,000	60,000
大会事務局費負担分収入	彩の国(3ヶ月分)		100,000	3	300,000	300,000	300,000
大会剰余金					0	82,515	0
強化活動 収 入	強化合宿参加費等 (合宿1万円)		10,000	8	80,000	72,300	80,000
	STUスイム講習会参加費等 (講習会1k円)、		1,000	200	200,000	48,500	200,000
	LDDA練習会45、LSwim合宿15	150,000	3,000	150	600,000	476,000	600,000
認定記録会参加費	記録会参加費収入(18k/人)		2,500	90	225,000	223,000	225,000
審判員試験検定料	審判検定料認定料(1k×20名=20k)、		1,000	20	20,000	31,000	20,000
大会ウェア販売代	審判ウェア販売5万	50,000			50,000	62,660	50,000
補助金収入					0	0	0
その他収入		-	-	0	0	92,117	0
収入計					5,838,000	5,989,892	6,055,000
収入残高					17,450,414	17,379,143	17,444,251
支出	内訳	固定額	単価	個数	予算額	前期決算額	予算額
JTU 登録費(大人)	一般1000人×1,000円但し60名免除		1,000	940	940,000	744,700	940,000
(ジュニア)	100人×100円		110	100	10,000	11,400	10,000
JTU分担金等	JTU評議員、理事分担金5、関東B4	150,000			150,000	50,000	150,000
埼玉県体協分担金等	埼玉体協20	200,000			200,000	200,000	200,000
大会等イベント主管費用 (審判ボラ謝礼金、会場費 等)	主管イベントスタッフ謝礼:記録会4、ロングDA3、 全チャレKIDS10、紅チャレ11、カーフマン16、 スイム合宿8、S練習会(9回+I-FA8回)5、 JrS練習会(5回)6、JrR練習会2、その他日当5、	700,000			700,000	612,612	700,000
大会事務局費	彩関東選30		100,000	3	300,000	300,000	300,000
通信費(郵便・メール便等)	1000×(90+62+124)円		276	1,000	276,000	231,314	276,000
通信費(電話)	通信費(8k×12)		8,000	12	96,000	101,804	108,000
大会備品購入費	設備購入(無線機16k×12)、消耗品等を含む	150,000	10,000	15	300,000	9,730	300,000
プロバイダー契約料	1,100円/月		1,100	12	13,200	22,680	13,200
HP管理維持費	年間120,000円		30,000	4	120,000	120,000	120,000
大会補助金	赤字補填(羽生SSDA20)	200,000			200,000	690,113	200,000
強化費・講習会費用(屋内)	S練習会など(除謝礼)3×12ヵ月、JSwim講習4,懇親会16	200,000	30,000	12	560,000	341,120	800,000
同(屋外)	LDDA練習会(除謝礼)28、LSwim合宿30	580,000			580,000	394,257	900,000
E 強化合宿・栄養費	Jrプログラム(含合宿)36、E栄養費2×7人	360,000	20,000	7	500,000	478,061	620,000
国体関係費	関東ブロック合宿派遣選手4人コーチ1人	675,000	25,000	5	800,000	325,992	125,000
JTU認定記録会経費	会場費プール4,陸上トラック5	180,000	1,100	180	378,000	0	189,000
JTU審判員講習会費	レースナンバー+計測代1人1.1k(除人件費)	6,000	3,000	4	18,000	33,592	17,000
交 際 費	慶弔費用、等 5k×4	30,000	5,000	4	50,000	27,000	50,000
旅費交通費	大会打合せ、準備、JTUや体協等の会議2,500円×20		2,500	20	50,000	18,004	50,000
STU事務局費	5×12ヶ月		50,000	12	600,000	600,000	600,000
STU会計事務費	1.5×12ヶ月		15,000	12	180,000	180,000	180,000
支払手数料	200円×14回		200	14	2,800	0	2,800
事務局備品・消耗品	審判員ウェア仕入5,消耗品費,印刷代等	60,000	5,000	4	80,000	180,885	30,000
会 議 費	会議室代(2,000円×12)		2,000	12	24,000	12,295	24,000
その他	予備費、調査費など	110,000			110,000	81,170	50,000
支出計					7,238,000	5,766,729	6,955,000
収支計					-1,400,000	223,163	-900,000
現預金残高(次期繰越し)					10,212,414	11,612,414	10,489,251

監査報告書

平成 29 年度会計監査

監査日:平成 30 年 3 月 21 日 午前 11 時～

場所: 埼玉県越谷市 サイゼリア大袋店

出席者: 尾崎監事、長谷理事長、松澤秀明理事、松澤けさ美理事

提出書類:収支計算書、預貯金通帳、領収書、勘定元帳

会計監査報告

平成 29 年度埼玉県トライアスロン連合決算報告について、規約第 16 条により監査した結果、収支計算書、預金通帳、領収書、勘定元帳全てにおいて、適正であることを認めます。

平成 30 年 3 月 21 日

埼玉県トライアスロン連合 (STU)

監事 尾崎 毅

平成 30 年度埼玉県トライアスロン連合(STU) 役員名簿

平成 30 年 4 月 8 日

STU 役職	氏名	職業・STU/JTU 役職・資格	住所
会 長	浅田 浩之	上柴クリニック医院長	深谷市
副会長	垂石 清	②	春日部市
副会長	長村 昭男	②	上尾市
副会長	長谷 利孝	①、JSPO、STU 主管大会実行委員長	北葛飾郡松伏町
理事長	矢野 龍太郎	JSPO,STU 強化委員長,JTU 指導者養成委員長、強化・指導・ジュニア普及担当	宮代町
副理事長	今 雅利	①、県体協委員、STU 技術委員長、技術・審判担当	さいたま市南区
副理事長	飯田 忠司	JSPO、強化・指導・普及担当	三郷市
理事	田上 英治	STU 事務局長、IT・web 担当、普及担当(西部地区)	入間市
理事	加藤 稔	STU 事務局員、事務・渉外担当	所沢市
理事	松澤 秀明	②、経理担当	栃木県宇都宮市
理事	松澤 けさみ	経理担当	栃木県宇都宮市
理事	新井 正	②、技術・審判担当	さいたま市中央区
理事	柴田 小百合	②、技術・審判担当、女子普及担当	東京都板橋区
理事	高水 徹	②、技術・審判担当	東京都練馬区
理事	西村 勇	②、STU 技術副委員長、技術・審判担当	桶川市
理事	辻谷 博之	③、大会運営担当	富士見市
理事	伊藤 士朗	③、大会運営担当	さいたま市岩槻区
理事	関根 範之	②、大会運営担当、JTU 社員	熊谷市
理事	神田 正己	②、大会運営担当	越谷市
理事	矢作 仁志	大会運営担当	上尾市
理事	青木博幸	②、大会運営担当	さいたま市桜区
理事	岡野 常夫	②、IT・web 担当	入間市
理事	柴本 靖史	②、技術・審判担当	加須市
理事	鈴木 卓史	事務局補佐	さいたま市浦和区
理事	北村 仁	初級、強化・指導・ジュニア普及担当	上尾市
特別理事	金子 宏	STU スポーツ医	戸田市
監事	高橋 肇	STU スポーツ医,③(高橋皮膚科医院：北本市)	上尾市
監事	尾崎 毅	STU 担当弁護士(山田尾崎法律事務所：港区)	越谷市

※①：JTU 1 種審判員、②：JTU 2 種審判員、③：JTU 3 種審判員

※JSPO：日本スポーツ協会指導員、中級：JTU 中級指導員、初級：JTU 初級指導員

STU 事務局：

〒359-1112 所沢市泉町 906-35 加藤方

TEL:090-7216-3528 FAX:04-2926-1831

MAIL:info@stu-triathlon.com

理事長： 矢野龍太郎

事務局長： 田上英治